

道徳だより 第1学年

グッド * ハート

Good Heart

木津川市立棚倉小学校 平成29年11月27日

本校では、道徳教育を重点的に研究しています。このお便りでは、各学年で取り組んでいる取組や授業の様子をお知らせしていきます。学校での子どもたちの様子を知ってもらおうと共に、お家での話題のきっかけにしてもらえたらと思います。

「お泳げない りすさん」

1年生では、「友情」について考える学習をしました。

かめ、あひる、白鳥が池の中の島へ行こうとしたとき、一緒に連れて行ってほしいと言うりすに「泳げないからだめ。」と断ってしまいます。りすがいないまま、遊んでも楽しくなかったみんなは、次の日、りすに昨日のことを謝り、今度はりすをかめの背中に乗せてみんなで島に向かうというお話です。

友達が泣いていたり、困っていたりすると、事情を聞いたり励ましたりする姿がよく見られます。しかし、一方では、友達のことを考えず、自己中心的で、友達にいやな思いをさせてしまうこともあります。

りすを一人ぼっちにしてしまったかめ達の気持ちや、一人ぼっちになってしまったりすの気持ちを考えることを通して、仲良く遊ぶことのよさや、友達のことを考えて助け合っていく大切さに気付かせたいと考えました。お面を付けて登場人物になりきって演技をしたり、気持ちの変化を体で表現したりして、登場人物の気持ちに寄り添って考えました。

○「りすさんはだめ。」と言われたりすさんはどんな気持ちだったでしょう。

- ・ 悲しい。・ いやな気持ち。
- ・ さみしい。一人ぼっちだから。
- ・ 遊びたかったのにな。



○島で遊んでいたとき、どんな気持ちだったでしょう。

- ・ りすさんがいないと楽しくない。
- ・ りすさんも一緒につれてきたら楽しかった。
- ・ りすさんがいた方がいいな。
- ・ ぼくたちのことしか考えていない。

○みんなで島へ行くとき、かめたちはどんな気持ちだったでしょう。

- ・ りすさん、きのうはごめんね。
- ・ 島で一緒に遊ぼうよ。
- ・ みんなと遊んだら楽しい。



〈児童の感想より〉

次の日、連れてってあげられてよかったね。次からは、みんなで遊ぼうね。

一回目のときはだめだったけど、公園に行ったら、りすさんのことを考えて、えらかったよ。2回目のときは、えらかったね。

最初はいやな気持ちだったけど、次の日になったら、いっしょに行こうと言ってくれたからいい気持ちになりました。

みんなで遊んだほうが楽しいね。りすさんが泳げなかったけれど、みんなで相談してアイデアを出せてよかったね。

